

コケリンドウ	<i>Gentiana squarrosa</i> Ledeb.	絶滅危惧 I 類	
		リンドウ科	
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が少ない。	写真(岐阜大学教育学部標本室) 	
形態の特徴	高さ数cmの多年草。よく分枝する。長さ5-15 mmの根出葉がある。茎葉は卵形で長さ5-10mm、幅3-7mm、対生の葉の基部は合着する。花冠は淡青紫色、花冠裂片は外側へ開く。		
生態的特徴	花期は4月から5月。		
分布状況	中国からシベリア、およびインド北部に分布し、日本では本州から九州までである。岐阜県では美濃地方の北側のみに見られる。		
減少要因	生育地の改変と、山草愛好家による採取。		
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。		
特記事項			
参考文献			

文責: 高橋弘